



Newsletter

No. 50

2012年11月20日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

ことしも東西でレイバーフェスタ 2012 いま、たたかいの文化を！



今年もはたらくもののお祭り「レイバーフェスタ」を大阪（第9回・12/9）・東京（第11回・12/15）に開催します。レイバーフェスタは12月の恒例行事となり、1年を振り返り、たたかいの文化を世の中に発信する場になっています。すぐれた映画やライブ、そして仲間がつくる「3

< 3分ビデオ・音楽・川柳を公募 >

・伝えよう！表現しよう！ー3分ビデオ大募集
レイバーフェスタ大人気の3分ビデオは、仕事のこと、生活のこと、社会のこと、言いたいことを3分の作品にまとめて発表するコーナーです。ぜひふるってご応募ください。下記のフェスタ事務局まで、DVD・DV ミニなどのフォーマットで、名前・タイトル・連絡先を明記の上、お送りください。データでも受け付けます。

・レイバーソングをつくろう・歌おう

働くあなたの歌、大募集！5分以内の作品音源（替え歌、オリジナルどちらでも）をお送りください。約10のグループ・個人に当日フェスタに出演していただき、珠玉の労働歌とともに一挙紹介します！

・ワーキングプア川柳

「川柳で2012年をふり返る」。あなたが今年つくった句を1人5句まで募集します。応募はホームページ <http://1000ryu.masaki-design.biz/> または、FAX 03-3530-8578、郵送でお願いします。

★東京関係の申込みは下記事務局まで。すべて最終締切は11/30（金）。

●中川五郎、フェスタ出演決定！「We Shall Overcome アゲイン」

中川五郎のレイバーフェスタ出演が決まった。中川五郎は、60年代半ばからアメリカのフォーク・ソングの影響を受けて、曲を作り歌を始めた。68年に「受験生のブルース」や「主婦のブルース」を発表し、一躍有名になった。2012年7月13日の官邸前「脱原発」金曜デモに参加、国会前で「We Shall Overcome 2012」を歌うと聴衆と大合唱になった。



分ビデオ・音楽・川柳」が結集する参加型イベントです。映画は、大阪では『311：ここに生きる』、東京では『～放射線を浴びた～X年後』を上映します。いま日本は閉塞状況。「3人に1人が「非正規」で食えない社会になり、政治家は「領土、領土」とナショナリズムを競い合ういやーな感じですが、でも3.11以降、脱原発の民衆の大きな流れは止むことなく広がっています。はたらくもの・市民が「おかしい」と声をあげること、表現すること、伝えることから何かが始まると思います。さあ、ことしもレイバーフェスタに集まろう。そして、一緒につくろう！変えよう！楽しもう！

★レイバーフェスタ 2012（大阪）

12月9日（日）11.00～16.30 エルおおさか南館5Fホール

★レイバーフェスタ 2012（東京）

12月15日（土）10.30～20.30 R's アートコート（労音大久保会館）

*当日の詳細・プログラムはチラシをご覧ください。

< 賛同人・賛同団体募集 >

フェスタの財政を支えてください。ぜひ皆様のご協力をお願いします。なお賛同者には、参加費割引・チラシ折り込み・物販などの特典があります。賛同金 個人1口 1000円 団体1口 3000円

郵便振替 00150-2-607244 「レイバーネット日本」

レイバーフェスタ 2012 実行委員会（責任団体 レイバーネット日本）

事務局（3分ビデオ・音楽・川柳の応募先）

173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

TEL03-3530-8588 FAX03-3530-8578

メール labor-staff@labornet.jp.org

労働運動の中に「脱原発」を広げよう！

「脱原発社会をめざす労働者実行委員会」が始動

今年8月12日、京都大学の小出祐章助教を招いて、1300人を集めて脱原発講演集会を成功させた労働組合（呼びかけは、全港湾、国労、全日建運輸連帯、全国一般全国協議会、東京清掃、東水労、都労連）が、新たに実行委員会を結成し、来年3月に向けて活動を始める。

実行委員会の結成総会は11月20日、18時30分から全水道会館で行われ、海渡雄一弁護士を講師に脱原発基本法の学習会を行う。12月14日18時30分から田町交通ビルで『原発の町を追われて』の上映会を行い、製作者の堀切さとみさんから話を聞き、福島の人々とどう結びつか考えることにしている。この作品は今年のレイバー映画祭で試作品が上映され好評を得た作品で、再編集された完成版での上映である。

実行委員会では、このような原発問題を問いかけるドキュメンタリーや映画の上映運動を全国で展開できないか検討している。レイバーネットでは実行委員会からの要請を受けて、映画のリストをつくり、貸出に応じる体制づくりを始めた。各地の労働組合が企画する脱原発映画上映運動に協力していき

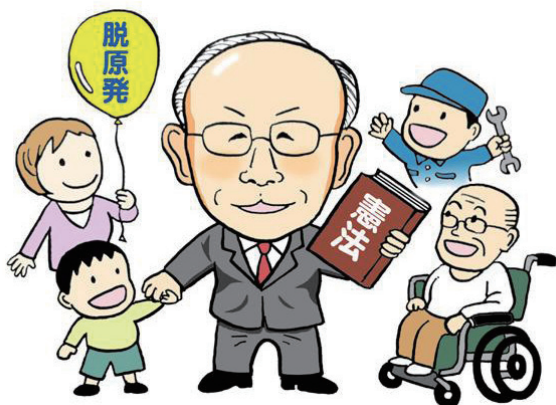


8.12 脱原発労働者集会

たい。

来年3月には、9日から11日までの3日間、全国各地での脱原発集会が取り組まれ、23日には福島で集会が開かれる。実行委員会は、2月にも労働者集会を開くことを計画している。（伊藤彰信）

宇都宮健児さん都知事選出馬 壺花花



●緊急カンパ・会費納入のお礼

新規サーバ購入、および活動費不足などがあり、9月に緊急カンパ・会費納入をお願いしましたが、多くの会員の協力を得ることができました。この2ヶ月間で、緊急カンパ34件・会費納入65件が寄せられ、合計382000円になりました。万単位のカンパも多かったです。これで当面の財政危機を脱することができました。ありがとうございました。しかし、依然厳しい財政状況は続いていますので、引き続き会費納入・カンパなど寄せていただければありがたいです。（レイバーネット事務局）

＜レイバーフェスタ東京で上映する『～放射線を浴びた～X年後』紹介＞

わたしたちの明日が問われる『X年後』

人間には嫌なことを忘れようとする習慣がある。しかし放射線は、どんなに忘れても静かに肉体をむしばみつける。

わたしは3・11以降、数多くの放射能問題の映画をみてきたが、そのなかでも伊東英朗監督の「～放射線を浴びた～X年後」はぜひみてほしい1本と思った。それはわたしたちのこれからが予告されていたからだ。この映画は、半世紀以上も前に起きたビキニ水爆実験を問題にする。このときの第五福龍丸の被爆はよく知られている。が、被爆したのは992隻もの漁船だった。しかも多くの乗組員は次々と人知れずがんで亡くなっている。それなのに日米政府は結託してそれを隠蔽した。同時に当の被災者もその隠蔽に加担していた。の

ちにこの事件を発掘した高校の元教員は「こんな巨大事件を葬ることは日本人の資質が問われる」と語っている。これはわたしたちのX年後を問う貴重な映画である。

（木下昌明）



レイバーネット TV サポーターズクラブへどうぞ！

★アクセス急増の「領土問題」「朝鮮学校問題」特集

「レイバーネット TV」のアーカイブが伸びている。とくに「尖閣・竹島だれのもの？-太田昌国と考える領土問題」(9/27)と「高校無償化なぜ朝鮮学校だけダメなの？」(10/26)は1300に達している。マスコミではできない焦眉の課題への切り込みが、反響を呼んでいる。11月7日放送では、20代の若者が企画した「就活のリアル～もやもやする若者たち」も放送した。今後も意欲的な番組づくりに取り組みたい。

★サポーターズクラブは来年2月に正式発足

TV サポーターズクラブには現在約30の個人団体が参加しているが、来年2月2日(土)午後、スペースたんぼで正式発足シンポジウムを開催することになった。それまでにより多くの団体などにも協力を呼びかけて「レイバーネット TV」を支える態勢をつくっていききたい。サポーターズクラブはレイバーネットとは会計はまったく別になる。11月には労組まわりもはじまった。労組をまわると「うちの組合はネット活用が遅れている。知恵を貸してほしい」などの相談も寄せられた。「レイバーネット TV」が労働運動の現場につながるためにも、労組まわりを丁寧にやっていきたい。

★キャラクターグッズができます

「レイバーネット TV」のキャラクターグッズを製作することになった。現在デザイナーに依頼中。当面、缶バッジと手ぬぐいをつくる。12/15のレイバーフェスタにはお披露目となる。

★ことしはあと2回、「有期雇用残酷物語」「イラク帰還兵」など

ことしの放送は、あと2回。11月21日(水)「有期雇用残酷物語」・12月5日(水)「イラク帰還兵・アロン&アッシュ」の予定です。ともに午



「尖閣・竹島だれのもの？-太田昌国と考える領土問題」(9/20)



「就活のリアル～もやもやする若者たち」(11/7)

後8時～9時15分放送。ぜひご視聴ください。放送場所は新宿のバンブースタジオ。観覧歓迎です。またテレビの企画もちこみもお待ちしています。

4ページからの続き

しかも、もっと驚いたのは、この第3章に私が高校教師をしていたころの仲間・板坂洋介さんまでもが一文を寄せていたことでした(映画制作の裏方を支えたのは彼でしたから当然とも言えるのですが)。

そんなわけで、レイバーネット日本への入会にはいろいろな奇遇が重なっているのですが、以前からこの組織の活動に注目してきたので、「あおぞら放送」に出演したことを契機にレイバーネット日本の共同代表・松原明さんから入会を勧められましたことを、非常に光栄に思っています。(国際教育総合文化研究所)

<会員関連情報>

●パンフレット『指導力不足教員』分限免職処分と闘う～分限免職処分撤回(5年間)の記録～

私は、2006年4月、『指導力不足等教員』として、岡山県教委から分限免職処分を受けました。岡山県教委も『指導力不足教員』としては、初めての分

限免職処分でした。私は、当時、岡山市立中学校の理科の教員でした。免職後、処分撤回の闘いに入りました。県人事委員会では完敗でした。のち岡山地裁へ闘いが移り、地裁高裁、最高裁と連勝し、2010年10月免職を撤回しました。『指導力不足教員』としては、初めての分限免職処分撤回だと思われれます。のち2011年4月から中学校現場に復職し、勤務しています。この間の、私の5年間の闘いの報告集がやっと完成しました。本事案の詳細や判決書等の必要な方は、下記へ連絡ください。ぜひ、本報告集・パンフもご注文ください。(岡山県教組・安東啓治) mmsbw474@ybb.ne.jp 086-231-4257

●労働者文学賞 2013 募集！

第25回目の労働者文学賞が募集中。小説・記録・評論・詩などの部門で賞金もある。選考委員は鎌田慧、木下昌明など。2013年1月末日締めきり。作品は2013年7月の「労働者文学」に発表。詳細→労働者文学会 03-3818-6671 <http://rohun.ciao.jp>

新入会員紹介

●ネットワークの重要性を痛感 荒井容子

私は「疋田教諭分限免職取消訴訟」の関係で、レイバーネットのことを知りました。こんなにひどい不公正な解雇があるだろうかと、訴訟を支えてきたのですが、ご支援くださったレイバーネットのみなさんとの交流を通じて、あきれするような、不当で安易な「解雇」と、それを是正できない安易な「裁判」が広がっていることを知りました。同時に、そのことを、それぞれの問題について展開されている運動とともに教えてくれるこのネットワークの重要性を痛感しました。一般にはなかなか得られない労働争議や労働運動などの情報はもとより、緊急の社会問題についても、明確な立場から具体的かつ分析的にその情報を伝えてくれる、レイバーネットのウェブサイトやレイバーネットTVにも勇気づけられています。

私自身は大学で「社会教育」に関する研究と教育を行っています。また社会教育・成人教育に関わる内外の運動（社会教育推進全国協議会、国際成人教育協議会ほか）にも関わっています。成人教育の運動はもともと労働運動と深くかかわっているのですが、昨年、国際成人教育協議会が開催した第8回世界大会（2011年6月）では、四つのテーマの一つに「No right to decent work without decent learning（人間らしい学習なくして、人間らしい労働への、権利はない）」を掲げて議論しました。（法政大学社会学部）

●朝鮮学校無償化問題にとりくむ 森本孝子

教員生活を定年退職後、市民運動をしたくて、地域での護憲活動団体に参加。同じ会にはレイバーネット記者もいるので、レイバーのニュースはほぼ毎日チェックし、レイバー映画祭やフェスタにもよく参加していた。今、一番の関心ごとは「高校無償化から朝鮮学校だけが排除されていること」だ。この問題は、日本の植民地支配の歴史認識を問い、日本社会の人権感覚を問う問題である。今回、レイバーネットTVでこの問題についての特集を組んだいただけることになり、今まで潜りで活用させていただいたままではいけないと思い、会員登録をすることにした。これからはますますレイバーネットの役割は大きくなるだろう。期待している。（「平和憲法を守る荒川の会」共同代表）

●「あおぞら放送」で出会った「巡り合わせ」 寺島隆吉

法人化された地方の国立大学で英語教育と国際

理解を教えてきました。が、2010年3月に定年退職しました。

連れ合いと一緒に4年がかりで翻訳した『肉声でつづる民衆のアメリカ



史』（明石書店・2012）を「経産省前テントひろば」に謹呈しようと思って「テントひろば」に立ち寄ったところ、4時から予定されている「あおぞら放送」の「通りすがり」コーナーに出演していただけないかと声がかかりました（写真右＝寺島さん）。

この日、上京したのは、上記『肉声史』を出版する機会をつくっていただいた先生への挨拶のためだったのですが、その帰途に「経産省前テントひろば」に立ち寄ってこの本を謹呈しようと考え、朝早く家を出てきました。

同書を謹呈したいと思ったのは、「テントひろば」に毎日泊まり込みで詰めている皆さんに（暇なときに）これを読んでいただければ必ず元気が湧いてくるのではないかと考えたからです。この本の翻訳には本当に呻吟させられましたが、と同時にその本に登場する人物の一人一人が私に語りかけてきて、彼らから大きな元気と励ましをもらったので、それを「テントひろば」の皆さんにもぜひプレゼントしたいと思ったのです。

レイバーネットTVは以前から視聴していたので、「あおぞら放送」を司会している松元ちえ（千枝）さんの顔はよく知っていたのですが、放送後の立ち話の中で私が1年間アメリカで日本語を教えたときに、その大学で大活躍をしていた学生と同一人物だったことを知り、思わぬ巡り合わせに驚愕しました。

もう一つの大きな巡り合わせは、レイバーネット日本「川柳班」です。レイバーネットTVを毎回みていましたから川柳班があることは知っていましたが、入会したあとで送られてきた大きな封筒の中に『がつんと一句！ワーキングプア川柳』という小冊子が入っていて、それを読んでいたら第3章に「川柳を学ぶよみがえる鶴彬」とあったからです。

私が生まれ育ったのは能登半島で、鶴彬の生誕地から非常に近いところですし、私が現在すんでいるところは鶴彬の生涯を描いた映画の監督・神山征二郎氏の生まれたところですから、二重の奇遇です。

3 ページ下段に続く

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 514 名

ウェブアクセス 1日 5000

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

レイバーネット日本事務局

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org

電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000 円